

平成23年度

北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に関する評価結果

平成24年8月

北海道地方独立行政法人評価委員会

□ 評価にあたっての基本的な考え方

北海道地方独立行政法人評価委員会公立大学部会は、地方独立行政法人法第28条の規定により、北海道公立大学法人札幌医科大学（以下、「法人」という。）の平成23年度の業務実績に関する評価を実施した。

なお、評価にあたっては、自主自律的な大学運営及び教育研究の特性に配慮しながら、中期目標の達成に向けた法人の当該事業年度における中期計画の実施状況を調査及び分析し、業務実績の全体について総合的に評価を行った。

評価委員会の業務実績に関する評価については、北海道地方独立行政法人評価委員会条例第6条第6項及び北海道地方独立行政法人評価委員会運営要綱第2条第2項の規定により、当部会の議決をもって評価委員会の議決とした。

なお、当部会が具体的に評価を行うにあたっては、「北海道地方独立行政法人評価基本方針」及び「北海道公立大学法人札幌医科大学年度評価実施要領」に基づき、次の考え方により評価を行った。

○ 評価の方法

評価は、「項目別評価」と「全体評価」により実施した。

「項目別評価」は、法人が作成した業務実績報告書を踏まえ、ヒアリング等を通じて、年度計画の項目ごとに業務の実施状況の確認や法人からの自己点検・評価の妥当性を検証し、総合的に判断の上、評価を行った。

「全体評価」は、項目別評価の結果を踏まえた上で、法人の業務実績全体について、記述式により評価を行った。

○ 評価の基準

法人が行う4段階（S～C）の自己点検・評価の結果を踏まえ、年度計画の項目毎に5段階（V～I）で評価を行った。

【法人が行う自己点検・評価基準】

S：上回って実施している

A：十分に実施している（達成度が9割以上）

B：十分に実施していない（達成度が9割未満）

C：実施していない

【評価委員会が行う項目別評価基準】

V：特筆すべき進捗状況にある

IV：順調に進んでいる（すべてS～A）

III：おおむね順調に進んでいる（S～Aの割合がおおむね9割以上）

II：やや遅れている（S～Aの割合がおおむね9割未満）

I：重大な改善事項がある

□ 北海道地方独立行政法人評価委員会・公立大学部会委員名簿

氏名	役職等	摘要
太田 明子	太田明子ビジネス工房 代表	
田中 繁道	医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 院長	
谷山 弘行	学校法人酪農学園 酪農学園大学 学長	
舟橋 健市	公認会計士	委員長・部会長
和田 健夫	国立大学法人 小樽商科大学 副学長	

※五十音順

目 次

1 全体評価	1P
(1) 総 括	
(2) 業務の実施状況	
2 項目別評価	
第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	2P
1 教育に関する目標を達成するための措置	
2 研究に関する目標を達成するための措置	
3 社会貢献に関する目標を達成するための措置	
4 附属病院に関する目標を達成するための措置	
第2 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置	5P
1 組織及び業務等に関する目標を達成するための措置	
2 人事の改善に関する目標を達成するための措置	
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	6P
1 財務に関する基本的な目標を達成するための措置	
2 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	
3 資産の運用管理に関する目標を達成するための措置	
第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	7P
1 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置	
第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	8P
1 施設設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置	
2 安全管理その他の業務運営に関する目標を達成するための措置	
3 項目別評価（総括表）	9P

1 全体評価

(1) 総括

北海道公立大学法人札幌医科大学（以下「法人」という。）は、法人として5年目を迎え、現中期目標期間が残り2年となることから、取組みが遅れている項目・課題を中心として、次のような取組みが行われた。

- ・ 教育の分野に関する主な取組みについては、保健医療学部において、高い倫理観を持った人間性豊かな医療人の育成を目的とした教養教育カリキュラムや、専門的な知識・技術と多様化する課題への解決能力の習得を目的とした専門教育カリキュラムなどを新たに策定した。また国内外の医学誌等への論文投稿の奨励を目的として、医学研究科において優秀論文表彰制度を創設し、優秀論文の表彰を実施した。
- ・ 研究の分野に関する主な取組みについては、引き続きトランスレーショナルリサーチ事業を推進し、平成24年度上半期での治験開始に向けて、脳梗塞研究及び癌ワクチン研究を行った。また医学部附属フロンティア医学研究所を設置して、研究機能の強化を図った。
- ・ 社会貢献に関する主な取組みについては、引き続き医師派遣を行って地域医療機関への支援を実施したほか、指導医講習会の実施を通して、臨床研修センターと臨床研修協力病院との連携を推進した。また附属病院の研修プログラムに参加する協力型病院や協力施設の追加等を行って、初期臨床研修システムの充実を図った。
- ・ 附属病院に関する主な取組みについては、「放射線科」を「放射線治療科」と「放射線診断科」に分化して機能の充実を図ったほか、脳梗塞後遺症等に対する再生医療の実現に向けた「神経再生医療科」を新設し、外来診療体制の充実を図った。また新たに手術室1室を増設し、高度救命救急センターの機能強化を図った。
- ・ その他の取組みとしては、疾病の予防などに関する公開講座の開催を含め、テレビ、ラジオなどの広報媒体を活用した情報発信を行った。

(2) 業務の実施状況

法人が作成した平成23年度業務実績報告書の自己点検・評価を確認したところ、年度計画93項目全てがA評価（達成度9割以上）以上であり、順調に進んでいるものと認められる。

【指摘事項】

- ・ 年度計画の策定に当たっては、計画の実行によって期待される効果や目標数値など評価の基準となるものを可能な限り定めておく必要がある。
- ・ 年度ごとの業務実績報告書における自己点検・評価の記載については、法人での評価の過程で検証した実績数値や事業実施結果などの具体的な内容を明確に記載する必要がある。

2 項目別評価

第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

第1の分野は、年度計画の項目数の8割以上の項目（82項目）で構成されており、最も重点を置いている分野である。

全82項目について、評価を行った結果、S評価1項目（1.2%）、A評価81項目（98.8%）と、全ての項目がA評価以上となっており、全体としては、計画どおり取組みが実施されたものと評価できる。

1 教育に関する目標を達成するための措置

評価 | IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○教育課程の充実

- ・ 保健医療学部において、現行カリキュラムの検証を踏まえ、高い倫理観を持った人間性豊かな医療人の育成を目的とした教養教育カリキュラムや、専門的な知識・技術と多様化する課題への解決能力の習得を目的とした専門教育カリキュラムなどを新たに策定したことは評価できる。(No.1~4)

○優秀な論文投稿の奨励

- ・ 国内外の医学誌等への論文投稿の奨励を目的として、医学研究科において、英文雑誌に受理された論文を対象とした優秀論文表彰制度を創設し、優秀論文の表彰を行ったことは評価できる。(No.14)

○新たな授業評価方法の導入

- ・ 学生からの評価を取り入れたベストティーチャー賞表彰を実施し、受賞教員の授業における工夫等をHPで公表し、教員間で優れた授業の共有を図ったことは評価できる。(No.28)

2 研究に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○トランスレーショナルリサーチ事業の推進

- トランスレーショナルリサーチ事業を推進し、特に脳梗塞研究及び癌ワクチン研究については、他機関との連携を図りながら、平成24年度の上半期での治験開始に向けて取り組んだことは評価できる。(No. 36)

○研究機能の整備

- 研究機能の強化を図るため、医学部附属がん研究所等の研究部門を再編統合し、医学部附属フロンティア医学研究所を設置したことは評価できる。(No. 37)

3 社会貢献に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○地域医療支援の充実

- 附属病院各診療科及び協力型病院の指導医を対象とした「指導医講習会」の実施を通して、臨床研修センターと臨床研修協力病院との連携を推進したほか、附属病院の研修プログラムに参加する協力型病院や協力施設の追加等を行って、初期臨床研修システムの充実を図ったことは評価できる。(No. 40)

○公開講座の開催や各種メディアを利用した情報発信

- 疾病の予防や健康づくりに関する公開講座「すこやかライフ講座」の開催や、ラジオ番組「医の力～札幌医科大学 最前線～」の放送を開始するなどの積極的な情報発信を実施したことは評価できる。(No. 46)

○国際交流の促進

- 新たに韓国カトリック大学との交流協定を締結し、英語ので学生臨床実習を相互に行うこととしたことは評価できる。(No. 50)

4 附属病院に関する目標を達成するための措置

評価	IV：順調に進んでいる
----	-------------

【主な取組みと評価】

○診断機能の充実

- ・ 「放射線科」を最新機器を用いて治療を行う「放射線治療科」と最新の画像診断機器等による診断に特化した「放射線診断科」に分化して、機能の充実を図るとともに、脳梗塞・脳梗塞後遺症に対する再生医療の実現に向けた「神経再生医療科」を新設し、外来診療体制の充実を図ったことは評価できる。(No. 55)

○附属病院機能の強化

- ・ 高度救命救急センターとしての機能強化を図ることとして、手術室1室を増設するとともに、最先端の機能を有するハイブリッド手術室を、平成24年度中に整備することとしたのは評価できる。(No. 59)

○研究体制・治験体制の整備

- ・ トランスレーショナルリサーチセンターを設置し、治験・臨床試験・臨床研究に対する支援等の促進を図ったことは評価できる。(No. 60)

○事務の集中化

- ・ 病院経営・管理部を設置して、病院経営に関わる情報の一元的な把握と企画立案が可能な体制を構築したことは評価できる。(No. 68)

第2 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置

第2の分野は、全3項目について評価を行った結果、全ての項目がA評価となっており、全体としては、計画どおりに取組みが実施されたものと評価できる。

1 組織及び業務等に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○事務等の改善

- ・ 組織機構改正を通じて、事務事業の点検を実施し、7名相当分の業務の外部委託化を推進したことは評価できる。(No. 79)

2 人事の改善に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○プロパー職員の採用

- ・ 12名のプロパー事務職員（新規学卒若年者、専門職種経験者（医療相談・医療材料調達）等）を採用するとともに、公立大学職員セミナー等の研修を通して、プロパー職員の育成を図ったことは評価できる。(No. 80)

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

第3の分野は、全4項目について評価を行った結果、全ての項目がA評価となっており、全体としては、計画どおりに取組みが実施されたものと評価できる。

1 財務に関する基本的な目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○大学の運営と経営分析

- ・ 運営費交付金依存率について、計画的な縮減に取り組んだことは評価できる。(No. 81)

2 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○ホームページの活用等による新たな収入の確保

- ・ 附属病院ホームページへの企業広告募集や、札幌医科大学シンボルマーク使用のオリジナルグッズ販売を開始し、広告料やシンボルマーク使用料による新たな収入の確保に取り組んだことは評価できる。(No. 82～83)

3 資産の運用管理に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○資産の効果的・効率的な運用

- ・ 法人施設の適切な保全や機能維持を図るため、法人の施設長期保全計画に基づいた設備改修を引き続き実施したことは評価できる。(No. 84)

第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置

第4の分野は、全2項目について評価を行った結果、全ての項目がA評価となっており、全体としては、計画どおりに取組みが実施されたものと評価できる。

1 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○様々な広報媒体を活用した情報発信

- ・ 疾病の予防などに関する公開講座「すこやかライフ講座」の開催を含め、TV番組「医の1BAN!」及びラジオ番組「医の力～札幌医科大学 最前線～」の放送、プレスリリースを通じた新聞などへの研究事例等の掲載など、様々な広報媒体を活用して、法人における教育、研究、診療などの取り組み状況について、積極的な情報発信を実施したことは評価できる。(No. 85～86)

第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

第5の分野は、全2項目について評価を行った結果、全ての項目がA評価となっており、全体としては、計画どおりに取組みが実施されたものと評価できる。

1 施設設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○ESCO事業による省エネ効果

- ・ 事業開始から3年目となったESCO事業について、当初予定の省エネ率11%を4ポイント上回る「15%」の削減効果があったことは評価できる。(No.87)

2 安全管理その他の業務運営に関する目標を達成するための措置

評価 IV：順調に進んでいる

【主な取組みと評価】

○セキュリティシステムの強化・向上

- ・ 検疫ネットワークシステム機器や、ウイルスチェック用サーバー機器の更新を行い、セキュリティ機能の強化を図ったことは評価できる。(No.88)

3 項目別評価（総括表）

評価項目（年度計画）	法人自己評価								評価委員会評価								
	計画達成の状況								評価	評価における特記事項							
	S	7	A	86	B	0	C	0		IV	S	1	A	92	B	0	C
1 第1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (1) 教育の成果に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 1-5/追1)	S	5	A	77	B	0	C	0	IV	S	1	A	81	B	0	C	0
	S	1	A	39	B	0	C	0	IV	S	1	A	39	B	0	C	0
	S	0	A	6	B	0	C	0	IV	S	0	A	6	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 保健医療学部において、現行カリキュラムの検証を踏まえ、高い倫理観を持った人間性豊かな医療人の育成を目的とした教養教育カリキュラムや、社会に貢献できる医療人として専門的な知識・技術と多様化する課題への解決能力の習得を目的とした専門教育カリキュラムなどを新たに策定し、平成24年度からの入学生から適用した。(No. 1-4) A 									<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる。							
2 (2) 教育内容等に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 6-20/追2-5)	S	1	A	18	B	0	C	0	IV	S	1	A	18	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 「ヒューマンサイエンス研究法特論演習」等について、携帯端末を利用した教育・演習（eラーニングコンテンツ）の活用を進めた。(No. 6) A 大学を揚げて地域医療への貢献に向けた取り組みを一層強化し、充実を図るため、「地域医療合同セミナー等企画・運営委員会」を設置し、両学部共通カリキュラムである「地域医療合同セミナー」等の企画・評価を行うこととした。(No. 9) A 論文投稿の奨励を目的として、医学研究科において、英文雑誌に受理された論文を対象とした優秀論文表彰制度を創設し、優秀論文の表彰を行った。(No. 14) S 									<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる。							
3 (3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 21-31)	S	0	A	11	B	0	C	0	IV	S	0	A	11	B	0	C	0
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 新たな授業評価方法として、学生からの評価を取り入れたベストティーチャー賞表彰を実施し、受賞教員の授業における工夫等をHPで公表し、教員間で優れた授業の共有を図った。(No.28, 30-31) A 新規採用後3年未満の教員及び講師への昇進者にFD活動への参加を義務付けるとともに、各FDセミナーへの参加状況などの活動をまとめた報告書を学内に配布し、積極的な参加を呼び掛けた。(No. 29) A 									<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる。							

評価項目(年度計画)		法人自己評価							評価委員会評価									
		計画達成の状況							評価	評価における特記事項								
4	(4) 学生への支援等に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 32-35)	S	0	A	4	B	0	C	0	IV	S	0	A	4	B	0	C	0
		<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 保健医療学部において、学生の利便性を高めるため、HPに各学科の教育課程表及び科目シラバスを掲載した。(No. 32) A 							○順調に進んでいる。									
5	2 研究に関する目標を達成するための措置 (1) 研究水準及び研究の成果に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 36)	S	0	A	4	B	0	C	0	IV	S	0	A	4	B	0	C	0
		S	0	A	1	B	0	C	0		○順調に進んでいる。							
<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 北海道臨床開発機構の支援を受けながら、トランスレーショナルリサーチ事業を推進した。特に脳梗塞研究及び癌ワクチン研究については、医薬品医療機器総合機構などと連携を図りながら、平成24年度の上半期に治験届を提出し、治験が開始できるよう取り組んだ。(No. 36) A 																		
6	(2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 37-39)	S	0	A	3	B	0	C	0	IV	S	0	A	3	B	0	C	0
		<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 研究機能の強化を図るため、医学部附属がん研究所等の研究部門を再編統合し、医学部附属フロンティア医学研究所を設置した。(No. 37) A 北海道臨床開発機構を通じて、北海道大学及び旭川医科大学と連携して、ヒト癌ワクチン実用化の臨床研究など4研究を推進した。また、室蘭工業大学産学連携会議へ参加し、新たな医工連携の取組みについて検討を開始した。(No. 38) A 							○順調に進んでいる。									
<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 研究機能の強化を図るため、医学部附属がん研究所等の研究部門を再編統合し、医学部附属フロンティア医学研究所を設置した。(No. 37) A 北海道臨床開発機構を通じて、北海道大学及び旭川医科大学と連携して、ヒト癌ワクチン実用化の臨床研究など4研究を推進した。また、室蘭工業大学産学連携会議へ参加し、新たな医工連携の取組みについて検討を開始した。(No. 38) A 																		
7	3 社会貢献に関する目標を達成するための措置 (1) 地域医療等への貢献に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 40-48)	S	1	A	13	B	0	C	0	IV	S	0	A	14	B	0	C	0
		S	1	A	8	B	0	C	0		○順調に進んでいる。							
<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 臨床研修センターと臨床研修協力病院との連携を推進するため、「指導医講習会」を実施するとともに、初期臨床研修システムの充実を図るため、附属病院の研修プログラムに参加する協力型病院・協力施設の追加等を行った。また大学病院での卒後研修の利点についての説明会を開催し、早期の情報提供を図るとともに、対象となる学生との接点強化に向けた取組みを実施した。(No. 40) A 地域医療機関へ次のとおり診療支援を行った。(No. 43) A ※ 派遣要請 2,042件 派遣実績 1,917件 (応諾率 93.9%) ※ 公的医療機関への派遣割合 59.2% 																		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自己評価において「S」と評価した1項目(No. 46)については、年度計画を十分に実施している実績と認められるが、年度計画を上回って実施したと見なせる実績が確認できないため、「A」と評価した。</p> </div>																

評価項目(年度計画)	法人自己評価		評価委員会評価	
	計画達成の状況		評価	評価における特記事項
7 ~10ページから続き~ (1) 地域医療等への貢献に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 40-48)	<ul style="list-style-type: none"> 疾病の予防等に関する道民の意識を喚起するため、公開講座「すこやかライフ講座」を開催するとともに、ラジオ番組「医の力〜札幌医科大学 最前線〜」の放送を開始するなど積極的な情報発信に努めた。(No. 46) S 			
8 (2) 産学官連携に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 49)	S 0 A 1 B 0 C 0 <input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 北海道臨床開発機構を通じて、北海道大学及び旭川医科大学と連携して、ヒト癌ワクチン実用化の臨床研究など4研究を推進した。また、室蘭工業大学産学連携会議へ参加し、新たな医工連携の取組みについて検討を開始した。(No. 49) A (再掲No38) 	IV	S 0 A 1 B 0 C 0 ○順調に進んでいる。
9 (3) 国際交流・貢献に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 50-53)	S 0 A 4 B 0 C 0 <input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年5月に韓国カトリック大学との交流協定を締結し、英語での学生臨床実習を相互に行うこととした。また、アルバータ大学への研究者派遣、フィンランドへの研究者派遣・受入、中国医科大学臨床実習学生派遣・受入などを行った。(No. 50) A JICAからの研修員(ブラジル・アフリカ)を受け入れ、医療技術指導などの支援を行った。(No. 51) A 	IV	S 0 A 4 B 0 C 0 ○順調に進んでいる。
10 4 附属病院に関する目標を達成するための措置 (1) 診療に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 54-59)	S 3 A 21 B 0 C 0 S 1 A 5 B 0 C 0 <input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 患者に判りやすいように内科及び外科の外来表示を臓器別・疾患別の表示に変更した。(No. 54) A 「放射線科」を「放射線治療科」と「放射線診断科」に分化して、機能の充実を図ったほか、脳梗塞後遺症等に対する再生医療の実現に向けて「神経再生医療科」を新設し、外来診療体制の充実を図った。(No. 55) A 高度救命救急センターの機能強化として、新たに手術室1室を増設し、最先端の機能を有するハイブリッド手術室を平成24年度に整備することとした。(No. 59) S 	IV	S 0 A 24 B 0 C 0 S 0 A 6 B 0 C 0 ○順調に進んでいる。 〔自己評価において「S」と評価した1項目(No. 59)については、年度計画を十分に実施している実績と認められるが、附属病院の機能強化について、引き続き検討する事項があり、年度計画を上回って実施したと見なせる実績が確認できないため、「A」と評価した。〕
11 (2) 臨床研究に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 60)	S 0 A 1 B 0 C 0 <input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 治験・臨床試験・臨床研究に対する支援等の促進を図るため、平成23年4月にトランスレーショナルリサーチセンターを設置した。(No. 60) A 		S 0 A 1 B 0 C 0 ○順調に進んでいる。

評価項目(年度計画)	法人自己評価								評価委員会評価								
	計画達成の状況								評価	評価における特記事項							
12 (3) 地域医療への貢献に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 61-66)	S	1	A	5	B	0	C	0	IV	S	0	A	6	B	0	C	0
<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 臨床研修センターと臨床研修協力病院との連携を推進するため、「指導医講習会」を実施するとともに、初期臨床研修システムの充実を図るため、附属病院の研修プログラムに参加する協力型病院・協力施設の追加等を行った。また大学病院での卒後研修の利点についての説明会を開催し、早期の情報提供を図るとともに、対象となる学生との接点強化に向けた取組みを実施した。 (No. 61) A 《再掲No. 40》 地域医療機関へ次のとおり診療支援を行った。 (No. 64) A 《再掲No. 43》 ※ 派遣要請 2,042件 派遣実績 1,917件 (応諾率 93.9%) ※ 公的医療機関への派遣割合 59.2% 疾病の予防等に関する道民の意識を喚起するため、公開講座「すこやかライフ講座」を開催するとともに、ラジオ番組「医の力～札幌医科大学 最前線～」の放送を開始するなど積極的な情報発信に努めた。 (No. 66) S 《再掲No. 46》 	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 病院経営・管理部を設置し、病院経営に密接に関わる情報を一元的に把握し、企画立案できる体制を構築した。(No. 68) A 新規医療材料の基準の見直しのため、「医療材料購入改善WG」において登録医療材料の標準化及び切替を行い、購入コストの削減を図った。(No. 72) A 高度救命救急センターなど中核的医療機関としての施設の充実等のため、新たに手術室1室を増設し、最先端の機能を有するハイブリッド手術室を平成24年度に整備することとした。(No. 77) S 	○順調に進んでいる。 (自己評価において「S」と評価した1項目(No.66)については、年度計画を十分に実施している実績と認められるが、年度計画を上回って実施したと見なせる実績が確認できないため、「A」と評価した。)															
13 (4) 運営の改善・効率化に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 67-77)	S	1	A	10	B	0	C	0	IV	S	0	A	11	B	0	C	0
<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 病院経営・管理部を設置し、病院経営に密接に関わる情報を一元的に把握し、企画立案できる体制を構築した。(No. 68) A 新規医療材料の基準の見直しのため、「医療材料購入改善WG」において登録医療材料の標準化及び切替を行い、購入コストの削減を図った。(No. 72) A 高度救命救急センターなど中核的医療機関としての施設の充実等のため、新たに手術室1室を増設し、最先端の機能を有するハイブリッド手術室を平成24年度に整備することとした。(No. 77) S 	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 事務事業の点検を実施し、7名相当分の業務を外委託化した。 (No. 79) A 	○順調に進んでいる。 (自己評価において「S」と評価した1項目(No.77)については、年度計画を十分に実施している実績と認められるが、病院施設の充実について、引き続き検討する事項があり、年度計画を上回って実施したと見なせる実績が確認できないため、「A」と評価した。)															
14 第2 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置 1 組織及び業務等に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 78-79)	S	0	A	3	B	0	C	0	IV	S	0	A	3	B	0	C	0
<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 事務事業の点検を実施し、7名相当分の業務を外委託化した。 (No. 79) A 	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 事務事業の点検を実施し、7名相当分の業務を外委託化した。 (No. 79) A 	○順調に進んでいる。															

評価項目(年度計画)	法人自己評価								評価委員会評価									
	計画達成の状況								評価	評価における特記事項								
15 2 人事の改善に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 80)	S	0	A	1	B	0	C	0	IV	S	0	A	1	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ 12名のプロパー事務職員を採用するとともに、公立大学職員セミナー等の研修を通して、プロパー職員の育成を図った。(No. 80) A																	
16 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 1 財務に関する基本的な目標を達成するための措置 (H23計画No. 81)	S	0	A	4	B	0	C	0	IV	S	0	A	4	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ 運営費交付金依存率について、計画的な縮減に取り組んだ。 (No. 81) A <運営費交付金依存率> 平成19年度決算：23.9% 平成20年度決算：24.4% 平成21年度決算：22.2% 平成22年度決算：19.5% 平成23年度決算：18.2%																	
17 2 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 82-83)	S	0	A	2	B	0	C	0	IV	S	0	A	2	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ 附属病院ホームページへの企業広告募集や、札幌医科大学シンボルマーク使用のオリジナルグッズ販売を開始し、広告料やシンボルマーク使用料による新たな収入の確保に取り組んだ。 (No. 82~83) A																	
18 3 資産の運用管理に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 84)	S	0	A	1	B	0	C	0	IV	S	0	A	1	B	0	C	0	○順調に進んでいる。
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ 施設の適切な保全や機能維持を図るため、長期保全計画に基づいた設備改修を行い、適切な施設管理を行った。(No. 84) A																	
19 第4 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置 1 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 85-86)	S	2	A	0	B	0	C	0	IV	S	0	A	2	B	0	C	0	○順調に進んでいる。 (自己評価において「S」と評価した2項目(No. 85-86)については、年度計画を十分に実施している実績と認められるが、年度計画を上回って実施したと見なせる実績が確認できないため、「A」と評価した。)
	<input type="checkbox"/> 年度計画を十分に実施している。 ・ ホームページの活用や、TV番組「医の1BAN!」(全12回)の放送、プレスリリースを通じた新聞などへの研究事例等の掲載など、様々な広報媒体を活用して、大学における教育、研究、診療などの取り組み状況について、積極的な情報発信を実施した。(No. 85) S ・ 疾病の予防等に関する道民の意識を喚起するため、公開講座「すこやかライフ講座」を開催するとともに、ラジオ番組「医の力~札幌医科大学 最前線~」の放送を開始するなど積極的な情報発信に努めた。 (No. 86) S 《No. 46再掲》																	

評価項目(年度計画)		法人自己評価							評価委員会評価									
		計画達成の状況							評価	評価における特記事項								
20	第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置 1 施設設備の整備、活用等に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 87)	S	0	A	2	B	0	C	0	IV	S	0	A	2	B	0	C	0
		S	0	A	1	B	0	C	0	IV	○順調に進んでいる。							
		□年度計画を十分に実施している。 ・ 事業開始から3年目となったESCO事業で省エネ率が当初予定の11%を4ポイント上回る15%の削減効果があった。(No. 87) A																
21	2 安全管理その他の業務運営に関する目標を達成するための措置 (H23計画No. 88)	S	0	A	1	B	0	C	0	IV	S	0	A	1	B	0	C	0
		□年度計画を十分に実施している。 ・ 検疫ネットワークシステムの機器更新を実施し、セキュリティ機能の強化を図った。また、ウイルスチェック用サーバーの機器更新も実施し、最新のスパム情報によるスパム判定と遮断率の向上を図った。(No. 88) A							○順調に進んでいる。									
		□年度計画を十分に実施している。																